

## もの言う牧師のエッセー 第269話

## 「老人と少女」

とあるスーパーマーケットで起こった素敵な物語。活発な4歳の美少女ノラちゃんはお母さんのタラさんと買い物をしていて、その時ノラちゃんは側にいた見知らぬ老人の男性客のダンさんに向かって「Hi, old person! (こんちわ。老人!)」と突然声をかけた。

渋い顔をするダンさんと、思わず背中が凍りつく母親のタラさんを尻目に、ノラちゃんは続けて「今日は私の誕生日なの!」ダンさんはいかにも冴えない感じの老人ではあったが、「そうかい、お嬢さん。誕生日はいかがでしたか?」と穏やかに答え、彼らはお互い二言三言会話を交わした後にそれぞれ別々に買い物を続けたのだったが、事はそれだけで終らなかった。

今度は、ノラちゃんは「あの人と写真が撮りたい!」と言い出し、再びスーパー内でダンさんを見つけ、彼の承諾を得てノラちゃんはツーショットしたのだったが、「その瞬間、彼の顔がパッと輝くのが分かりました」と振り返るタラさん。そして「ノラさん。本当に良い女の子だね。君はボクに長い間で最もハッピーな時をくれました。」とダンさんが唇を震わせながら言った言葉に思わず涙ぐんだという。

その後すっかり親しくなった3人だったが、聞くところによると、82歳のダンさんは、半年前に長年連れ添った奥さんに先立たれ、それ以来不眠症に陥りすっかり弱っていたのだったが、ノラちゃんとの出会いが彼を健やかにし、今では散髪してひげをそり、男性香水で加齢臭を封じ込んで三人で“デート”を重ね、不眠症も治ってしまい、「ノラはボクを癒してくれた。」聖書の言葉、

「目の光は心を喜ばせ、良い知らせは人を健やかにする。」 箴言15章30節、

とは良く言ったものだ。閉塞感に覆われる社会、世知辛い世の中をリカバリーさせるには愛しかない。人々の心をパッと明るくするキリストの愛の福音をこれからも伝えて行きたい。

2016-12-9

